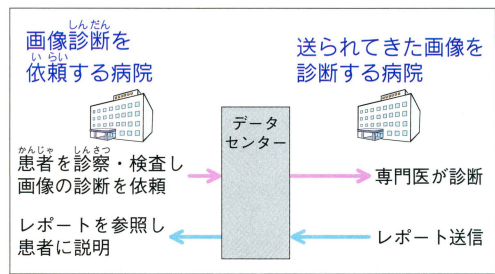


●通信技術を医療にいかす

④送信されてきた患者の画像を見て診断する医師たち(香川県, 三木町, 2010年撮影)

香川大学医学部附属病院には、県内のほかの病院から患者の診断用画像が送信されてきます。専門医がパソコンの画像を見ながら、診断を行います。

香川県では、大学病院を中心に県内の病院を通信回線で結び、患者の検査データを、ほかの病院の専門医に送信して診断・助言を受けられる遠隔医療ネットワークを築いています。このネットワークを活用することで、山間部や離島にある病院の医師と、大きな病院の専門医が結びつくようになりました。離島や山間部に住む人々は、これまで、遠くの病院まで出かけて、専門医の診察を受けなければなりませんでした。このネットワークを活用することで、地元のかかりつけの病院で、高度な診察を受けられるようになりました。



⑤香川県の遠隔医療ネットワークのしくみ

画像のほか、患者を専門医や専門施設のある病院に紹介しています。